

データベース構築促進及び技術開発に関する報告書

患者投薬時に交付する服薬等指導文書のデータベースの構築

平成 9 年 3 月

財団法人 データベース振興センター

委託先 株式会社 Y S 企画

KEIRIN



この事業は、競輪の補助金を受けて実施したものです。

序

データベースは、わが国の情報化の進展上、重要な役割を果たすものと期待されている。今後、データベースの普及により、わが国において健全な高度情報化社会の形成が期待される。さらに海外に対して提供可能なデータベースの整備は、国際的な情報化への貢献および自由な情報流通の確保の観点からも必要である。しかしながら、現在わが国で流通しているデータベースの中でわが国独自のものは1/3にすぎないのが現状であり、わが国データベースサービスひいてはバランスある情報産業の健全な発展を図るためには、わが国独自のデータベースの構築およびデータベース関連技術の研究開発を強力に促進し、データベースの拡充を図る必要がある。

このような要請に応えるため、(財)データベース振興センターでは日本自転車振興会から機械工業振興資金の交付を受けて、データベースの構築および技術開発について民間企業、団体等に対して委託事業を実施している。委託事業の内容は、社会的、経済的、国際的に重要で、また地域および産業の発展の促進に寄与すると考えられているデータベースの構築とデータベース作成の効率化、流通の促進、利用の円滑化・容易化などに関係したソフトウェア技術・ハードウェア技術である。

本事業の推進に当って、当財団に学識経験者の方々に構成されるデータベース構築・技術開発促進委員会(委員長 東海大学教授 上條史彦氏)を設置している。

この「患者投薬時に交付する服薬等指導文書のデータベースの構築」は平成8年度のデータベースの構築促進および技術開発促進事業として、当財団が 株式会社YS企画 に対して委託実施した課題の一つである。この成果が、データベースに興味をお持ちの方々や諸分野の皆様方のお役に立てば幸いである。

なお、平成8年度データベースの構築促進および技術開発促進事業で実施した課題は次表のとおりである。

平成9年3月

財団法人 データベース振興センター

平成8年度 データベース構築・技術開発促進委託課題一覧

分野	課題名	委託先
社会	1 報道写真を中心とした商用デジタル写真データベース構築 2 WWWによる医薬情報全文検索データベースの構築と利用者Q & Aデータベースシステムの構築 3 生活博物史データベースの構築	(株)毎日新聞社 日本電子計算(株) (株)NHK情報ネットワーク
中小企業振興 地域活性化	4 信濃毎日新聞記事データベースの構築 5 患者投薬時に交付する服薬等指導文書のデータベース構築 6 自治体議事録のSGMLデータベース化と情報検索ブラウザ機能開発 7 全国ベンチャー支援機関のネットワーク化による起業化支援データベースのプロトタイプ構築 8 インターネットを用いたイベント情報サービス	信濃毎日新聞(株) (株)YS企画 (株)会議録研究所 (株)日本インテリジェントトラスト (社)日本イベント産業振興協会
技術	9 データベースクリアリングサーバのプロトタイプの作成 10 中堅・中小企業向け顧客データベース利用ソフトのプロトタイプ作成 11 写真データベースへの感性からの接近に関する調査研究 12 インターネット上の情報オブジェクトを利用した高信頼アプリケーション開発技術に関する調査研究	セントラル開発(株) 情報図書館RUKIT (株)日経リサーチ (株)中日新聞社 (株)新世代システムセンター

目 次

1. 患者投薬時に交付する服薬等指導文書のデータベースの構築	1
1.1 服薬等指導文書のデータベース	1
1.1.1 目 的	1
1.1.2 交付文書データベースの構築	2
1.1.3 業務支援用データの作成と仕組み	4
1.1.4 87分類コードとは	6
1.1.5 コメントの整理・記号化	7
1.1.6 コメントの実際	7
1.2 服薬指導文書のデータベースと各種医療事務用コンピュータとの問題点	10
1.2.1 目 的	10
1.2.2 医療（薬局）事務用コンピュータとは	11
1.2.3 医薬品コードの問題点	11
1.2.4 作成データの実際	14
1.3 薬剤情報	47
1.3.1 操作手順	47
1.3.2 印刷見本1	50
1.3.3 印刷見本2	51
1.4 データベースのカスタマイズ	52
1.4.1 操作手順	52
1.5 おわりに	60

1. 患者投薬時に交付する服薬等指導文書のデータベースの構築

1.1 服薬等指導文書のデータベース

1.1.1 目的

現在、国内にて流通している医薬品は、局方品・一般名薬剤等、基本的医薬成分では、約3,500種類いわれているが、これらの成分によって、製造・販売されている商品となると、医師の処方により投与される医療用医薬品で、約20,000品目、街の薬局あるいは家庭配置薬等で手軽に入手出来るOTC薬剤（一般用医薬品）でも、20,000品目に近い数となっており、医療の現場においてこれら医薬品の情報を掌握し、熟知することは容易なことではない。

近年、医療における安全性が叫ばれ、特に医薬品については厚生省は元より、関係団体、関係メーカーあるいは関連販社等においてもその重要性を認識し、資料・データとして、数多く提供・販売されているが、現場サイドにおいてそれらの資料・データを使用する場合、次のような問題点があることが判明した。

- (1)、医薬品一般名（1.1.3 (2) 7、に記述）を基準として編集された、日本医薬情報センター編、薬業時報社発行の「日本医薬品集」あるいは医薬品添付文書（各医薬品に添付された文書）を只、要約しただけのものや、抗癌剤・化学療法剤等の様に、患者さんに対し明示の難しいものをカットしてあるものがある。
- (2)、忙しい調剤の現場においてわざわざ厚い書籍をめくったり、コンピュータを、立ち上げたりなど他の手段にて該当する薬剤の情報を検索することは、時間的に難しい。
- (3)、一薬剤に対する情報量が多く、調剤の現場において必要とする項目を探す手間が大変であり、そのために、手を抜いてしまう例があるようである。

- (4)、患者さんに対する情報表示の内容によっては、患者さんの恐怖心を煽り、服用を避けたり薬剤を選別して服用するなど、逆効果になる場合が考えられる。
- (5)、年間に新規発売される医薬品の数や、改訂される医薬品添付文書件数を考慮した場合、メンテナンス情報の提供時期（周期）が重要と考えられる。

しかしながら、現在刊行されているものの中には、メンテナンス情報の提供時期（周期）が不明確であったり、年に数度だけである場合がある。

そこで、それらの問題等を考慮の上、各医薬品メーカーより提供される添付文書集、その他の情報を基に、「必要な情報を、簡単に検索が可能であり・患者さんに優しく・最新情報を短期に提供」を目的に、調査・研究し、構築するものである。

1.1.2 交付文書データベースの構築

(1)、はじめに

このデータベースは、保険（調剤）薬局あるいは、医療機関の薬局において、投与する薬剤の、医薬品名・一般名・剤型・色・識別記号はもとより、何の薬（効能・効果）、副作用、服薬上の指導・注意事項等を、プリントアウトして、患者さんに直接お渡しするものであり、コメントの文面には最大の注意をはらいつつ、又、検索の時間削減を図るため、窓口設置の医療事務用コンピュータ（1.2.2 に記述）を活用するものとして、データを構築する。

(2)、データ収集及び作成上の問題点、並びに開発上の考慮

データ開発に当たり、収集・開発の問題点・考慮すべき事項は次の通りである。

ア、データベース構築においての問題及び考慮事項

①、医薬品数を考えた場合、使用目的・効能などにより、医薬費音自体の分類が必要となる。公的な分類としては、通産省が商品管理のため、設定した「日本標準商品分類（１９９０年改訂）」中、医薬品を示す８７から始まる分類番号から、通称「８７分類」（詳細は１.１.４に記述）が、存在するが、この８７分類は、薬剤効能・効果別ばかりでなく、診療科別、診療目的別などの分類も混在しているため、そのままの流用は不可能と判断し、８７分類コードを分析した結果、目的に応じて使い分けし、さらに余分の領域を確保し、不備を補うと共に、配合剤（複数薬剤を配合した薬剤）を考慮して、使用する。

②、前項と一体になる分類として、医薬品一般名（局方品・一般名薬剤等、基本的成分の総称）がある。

医薬品は、この一般名薬剤を、単体あるいは複数配合したものであり、各製薬メーカーごと発売されているが、その内容は同一である場合が少なくない。

そのため、同一成分の薬剤を集約することにより、医薬品数を減らすことが可能である。

③、現在市販されているデータ中、上記 同一一般名、同一薬剤であった場合、全薬剤の情報が、同一コメントにて表示するものが散見される。

しかし、同一一般名、同一薬剤であっても、剤型・組成成分含有量の違い、製造メーカーにより、適応病名ばかりでなく、指導の内容が異なるものが多数存在する。そのため、このデータベースにおいては、同一一般名、同一薬剤であっても、その薬剤の適応病名（効能・効果）・その他の情報等をチェックし、明らかに違うと判断した場合、別の薬剤として認識した上で、独自に名称を作成し、コードを変えて、データを作成する。

④、配合剤については、８７分類においては主たる薬剤により分類されているため、前記のように８７分類コードを拡張使用により対応するが、一部対応しきれないものについては、同一配合の薬剤を登録して辞書化した薬物群辞書にて対応する。

⑤、新規医薬品・添付文書変更情報早期収集について各製薬・販売メーカーの添付文書集並びに、添付文書の変更情報等の入手時期を迅速化する。

しかし、入手の困難なものについては、他社の同系薬剤情報により対応し、入手しだい直ちにメンテナンスを行う。

⑥、注射薬・造影剤・検査薬等の情報について

業務支援においてデータを必要とする薬剤は、内用薬・外用薬・一部の注射薬（厚生省にて指定されたもの）であり、必要と判断する薬剤のみ情報収集を行う。

1.1.3 業務支援用データの作成と仕組み

(1)、データ収集

ア、各医薬品製造・販売メーカーより発行の医薬品添付文書集等を基に、

- ①、一般名
- ②、商品名
- ③、剤型（内用・外用・注射薬別、錠剤・カプセル等の別）
- ④、薬剤の色
- ⑤、識別記号（薬剤の本体・ヒートの耳・包装等に記載された記号等）
- ⑥、薬剤の効能・効果（適応病名）
- ⑦、副作用情報
- ⑧、服用上の注意
- ⑨、服用上の指導事項 等

などの必要項目・該当コメントの原案を収集用紙にて収集する。

イ、収集したものを、87分類、一般名別に整理し、同一一般名であっても違いの有するものを分類する。

(2)、データ整理の基本

ア、医薬品の一般名とは、

このデータベースにおける一般名とは、一般名・統一名・局方名・一

部の配合剤で、商品名にて呼称したほうが有用と思われるもの等を総称している。

現在、局方品・一般名等、基本的医薬成分として約3,500種ほどあるが、同一名称の一般名でも、剤型・含有量・メーカー等の違いにより、効能・効果（適応病名）、使用上の注意事項等に違いがあるため、枝番により、別一般名としている。

イ、一般名の表記について

一般名表記には基準的なものとしては、

I N N = 国際名（英名）

J A N = 日本名（英文表示とカナ名表示）

J P = 日本薬局方

例

商標名（商品）	ボルタレン錠
一般名	ジクロフェナクナトリウム（日本カナ名表示）
	diclofenac sodium（日本英文表示）
	diclofenac（国際名）

と、されているが、実際には、国際名にも米州、欧州で違いがあり又、日本国内においても書籍によって同一薬剤であっても一般名が違うものが存在する。

これは、製薬メーカー表記のものと、厚生省薬務課表記の違いによる場合等の問題であり、このデータベースにおいては、J A N カナ名表示を基準とし、異なる一般名が存在した場合には、厚生省薬務課にて使用する表記を用いる。

ウ、一般名コード

一般名での整理に必要なコードであるが、公的な一般名コードは存在せず、そのため、このデータベースでは独自に階層化したコードを作成し、一般名コードとしている。

1. 1. 4 87分類コードとは

87分類とは、前項にても記述した通り、通産省が商品管理のため、設定した「日本標準商品分類（1990年改訂）」中、医薬品の項「87」を略して通常3～4桁の十進分類で用いるものであるが、

- 1 神経系及び感覚器官用医薬品
- 11 中枢神経系用剤
- 114 解熱鎮痛消炎剤
- 1141 アニリン系製剤
- 1142 ベンジダミン製剤
- 1143 サリチル酸系製剤
- 1144 ビラゾロン系製剤
- 1145 インドメタシン製剤
- 1146 ビラビタール系複合体製剤
- 1147 フェニル酢酸系製剤
- 1148 塩基性消炎鎮痛剤
- 1149 その他の解熱鎮痛消炎剤
- 132 耳鼻科用剤
- 1324 耳鼻科用血管収縮剤

等のように、成分分類によるもの、治療目的によるもの等、一貫しておらず、又、その他・配合関係の細分化も必要となる。

このデータベースにおいては使用目的によって、87分類を使い分けし、さらに桁を追加して、配合・その他の項を細分化している。

例

- 23 消化器官用薬
- 233 健胃消化剤
- 2331 消化酵素製剤
- 2332 酵母製剤
- 2333 苦味製剤

2334	芳香製剤
2335	酸類製剤
2336	塩化カルニチン製剤
23390	その他
23394	炭酸水素ナトリウム・苦味質剤(酵素配合を含む)
23395	消化酵素複合剤
23396	消化酵素・デヒドロコール酸剤(シリコン配合を含む)
23397	消化酵素・制酸・生薬・被覆剤
23398	消化酵素生菌剤
22299	その他の配合剤

1.1.5 コメントの整理・記号化

服薬等指導文書用のコメントは、制約された範囲の中で表示するため、コメントの意味が理解できる範囲内に簡略化している。

しかしそのコメントを見るのは 患者さんであるので、患者さんレベルでも読みやすく、意味の通じるものにしなければならない。

又、以下のデータは、直接患者さんに渡すものであり、添付文書を忠実に作成してしまうと、患者さんに刺激的であったり、恐怖心を与え、服用を中止してしまったり、薬剤を選別して服用するなどの問題を起こしかねず、そのため、このデータベースにおいては、文章の簡略化並びに文章の内容について、ベテランの薬剤師、患者さんに見立てた一般の方々にチェックさせている。

尚、医師、薬剤師に対しては、添付文書に忠実なコメントはを、別データにて提供する必要があると、考えている。

1.1.6 コメントの実際

(1)、何の薬？（効能・効果 適応病名）

医薬品添付文書中、効能・効果欄に記された症状・病名を収集し、患者さんに解出来る様、用語の修正・修飾語の追加を行う。

例

- Q0051 アレルギー性鼻炎の治療薬です。
- Q0216 ビタミン B12 製剤で、妊産婦の貧血、その他の貧血、抹消神経障害などの治療薬です。
- Q1292 狭心症・心筋梗塞の治療薬ですが、血栓の予防・尿蛋白量を減らすのにも使います。
- Q1711 抗生物質の外用薬で、細菌による感染症の治療薬です。

(2)、副 作 用

医薬品添付文書中、使用上の注意の項、副作用欄より収集し、患者さんに対する影響を考慮しつつ、用語の修正・修飾語の追加を行う。

例

- R0024 局所に刺激感等がおこることがあります。
- R0025 湿疹、発疹、かゆみ、刺激感等がおこることがあります。
- R0129 腹部の不快感、腹痛、発疹等がおこることがあります。
- R5023 心悸亢進（心臓がドキドキする）、発汗過多、頻脈、長期服用で血圧の上昇

(3)、服用時の注意・服用指導コメント

添付文書の全般より、患者さんに対して必要な注意・指導事項を選択し、患者さんに対する影響を考慮しつつ、用語の修正・修飾語の追加を行う。

例

- Q 次の医薬品との併用又は飲酒によりその作用が増強されることがあるので、このような場合には・・・・
- A 服用中はアルコール類を飲まないで下さい。薬の作用が強く出ることがあります。
- Q 過度に使用を続けた場合、不整脈、場合により心停止を起こすお

それがあり、特に発作発現時の吸入投与の場合には、使用が過度になりやすいので、十分に注意すること。

A 過度に使用を続けると心臓に影響を及ぼすことがあるので、医師の指示を守りましょう。

A 発作時の吸入は過度になりやすいので、注意して下さい。

Q 循環器：ときに心悸亢進。脈拍増加、不整脈があらわれることがある。

Q 精神神経系：ときに頭痛、手指振戦、ねむけ、また、まれにめまい等があらわれることがある。

A 頭痛、動悸、手のふるえが出るようならば、医師に相談して下さい。

(4)、薬剤 記号

薬剤記号は、本体・包装・ヒトの耳に記載であるが、最近耳の部分には、フルネームが一般的であり、折って渡す例が多いため、このベータベースでは、フルネームを除く、本体と、包装に記載されているものを二つに分けて、提供する。

(5)、会社マーク

前項の薬剤記号と同様にその薬剤を限定するに有用な情報であるが、各製薬・販売メーカーによって、統一的に使用しているとは限らない。

それは、ロットによりマークや記号を変えたり、製薬・販売メーカーの統廃合により変更される場合等、一社で7種類が存在することを確認している。

現在確認している各社のマークは、字体の変形、自抜き、カナ文字とアルファベット表示、旧マークなども加えると、九百有余となる。

薬剤各々には一個であるため収集可能と思われるが、九百有余のマークを表示させるためには、外字にて作成せねばならないものが数百あり、デ

一時的にも、ソフト作成上においても問題があり、考慮中である。

他のデータベースの様に、代表的なマーク百前後に整理し、それのみを表示とすることも考えられるが、ベストであるのかは、疑問である。

よって今回は収集表示しない。

ただし、今後の要望によっては、バージョンアップ時に、考慮する予定である。

(6)、剤型

ア、内用薬、内滴剤、注射薬、外用薬、滴剤によるものと、

イ、錠、カプセル、注射薬、散剤、貼付剤のような、表示方式があり、それらを記号化して収集し、コンピューターにて表示、プリントアウトでの印刷時に、原文に戻して表示する。

(7)、色

各製薬・販売メーカーの資料により収集するが、色の説明について千差万別であり、統一的な表示は不可能であるため記号化せず、原文のまま、テキスト文にて収集し、そのまま表示する。

1.2 服薬指導文書のデータベースと

各種医療事務用コンピュータとの問題点

1.2.1 目的

前項で作成された「服薬指導文書のデータベース」は、医療（薬局）事務用コンピュータとの融合により、その効果が発揮される。この項においては、各医療（薬局）事務用コンピュータとの融合する場合に、起こり得る問題点について検証し、その解決方法について記載する。

1.2.2 医療（薬局）事務用コンピュータとは

医療（薬局）事務用コンピュータとは、医療機関あるいは、保険（調剤）薬局において、医療費、薬剤等の窓口精算並びにレセプト作成を行うために設置されたものであり、大別すると、

- (1)、医療事務用システム・病院、診療所に設置
- (2)、歯科事務用システム・歯科に設置
- (3)、調剤事務用システム・保険（調剤）薬局に設置

と、なり、全国の普及率が高い。

服薬指導文書のデータベースは、（3）の調剤薬局向が主となるが、必要により、医療事務用システムにも可能である。

1.2.3 医薬品コードの問題点

同じ目的のシステムであっても、開発メーカーにより、構築構造に多大な差違があり、通常のデータには、その互換性はない。

しかし、このデータベースを互換性のあるものとすることは、不可能でない。

それは、このデータベースの主体である医薬品（商品レベル）コードの各社統一が果たせれば可能となる。

現在存在する医薬品コードは、

- (1)、一般的に用いられている統一商品コード
- (2)、薬価コード（薬価基準収載コード）
- (3)、レセ電算コード（レセプト電算処理システムに用いられる、厚生省保険課コード）

(4)、システム開発会社の独自コードであるが、各々のコード体系にはそれぞれに問題がある。その問題とは、そのコード体系が確立された際の目的によるものや、時代の経緯により、意味を失ったもの、メーカーにより独自に付与するため互換性がないもの、コードの桁数を少なくさせるため、薬剤に独自コードを付与しているもの、等である。

下記によりそれらについて、説明する。

(1)、一般的に用いられている統一商品コード

頭3桁がメーカーコードであり、以下6桁は各社において独自に付しているものであり、統一コード未設定の会社も存在し、全薬剤のコード化を果たしていない。

さらに、同一薬剤であっても包装単位によりコードが異なり、このデータベースの目的には、そぐわない。

しかし利点として、コードの頭に「4987」を追加すれば、JIS制定のJANコードとして活用が出来る。

(2)、薬価コード（薬価基準収載コード）

薬価コードは、

ア、87分類の「87」を省略した4桁のコード

イ、内用薬・注射薬・外用薬・菌科薬別の3桁コード

ウ、剤型を表す、アルファベット1字

エ、同一分類内での規格単位番号である 1 桁

オ、同一規格単位内での銘柄別番号である 2 桁

力、チェック用である 1 桁コード の、1 2 桁である。

利点としては、薬剤の分類をするためには重用なものであるが、前項にても記述した通り、局方品・統一名称薬剤のように、同一薬剤であってもメーカーによってその情報に違いがあるものや、先発・後発の問題により、支払基金・国保連合会等にレセプト請求する場合、メーカー名を付さない時には薬価的に不利となることがあるため、薬剤名の後にメーカー名を記入する必要がある。

しかし、このコード体系では、メーカー別を考慮していない。

この薬剤を取り扱う医薬品卸商社、医療機関においては、同一薬剤をメーカー別に扱う必要がないため、特に問題とはならないが、データベースを構築する上では、全メーカーを考慮せねばならず、大きな問題である。

後項にて説明するレセプト電算処理システムに用いられるコードと比べると、数の上で、千三百有余の違い（少ない）がある。

これは、メーカー別の薬剤を同一コードで集約された結果である。

さらに問題となることは、法改定により、87分類が変更された場合、コード体系に及ぼす問題について、疑問が残る。

(3)、レセ電算コード（レセプト電算処理システムに用いられる、厚生省保険課コード）

厚生省においては、支払基金・国保連合会にて行われる審査の内、事務審査をコンピュータにて行うため、昭和の末頃より、その準備を進め、現在においては、県レベル単位にまで広がっている。

このシステムに使用されるコードがレセ電算コードであるが、当初は、そのコード体系にも有用性があり、

ア、医薬品を示す1桁のコード

イ、内・注・外・菌等を示す1桁のコード

ウ、当時の81分類コード（法改定により現在は87分類）

エ、上記分類薬の一連番号

と、なっていたが、ウ、の81分類が、法改定により87分類になった段階において、その有用性は半減された。

さらに、医療事務用コンピュータメーカーにこのコードを採用していたこともあり、87分類に変更する事も出来ず、現在まで使用されているユニークコードとなっているが、レセ電算処理システムにおいてはこのコードが採用されるものであり、同一薬剤のメーカー別にも対応しているものである。

(4)、システム開発会社の独自コード

統一名コードにあつては9桁、薬価コードで12桁、レセ電算コードにおいても9桁であり、医療機関サイドにおいて入力する場合、負担を軽減する目的で、システム開発会社により、4～6桁のコードで処理出来るよう独自コードを使用しているものである。

これらのコード体系を考慮すると、(3)のレセ電算コードを採用する事が得策と考える。

上記説明において、厚生省が推進するレセプト電算処理システムに各社が対応するためには、(3)のレセ電算コードに統一されるものであり、今後の互換性にも合致するため、このデータベースにおいてもこのレセ電算コードを採用した。

尚、過渡期にあつては、一部問題が残るものの、データコンバートにより、対応が可能となる。

1.2.4 作成データの実際

(1)、商品名及びコード

後述の、1.2.4 (10)、最終段階での総合的データ内容を参照。

(2)、一般名及びコード

87分類,コード,一般名

11390,105551,エトスクシミド 内

11390,105552,エトスクシミド 内・液

11390,10565,カルバマゼピン

11390,105651,カルバマゼピン 内

11390,105652,カルバマゼピン 内 テスシ

11390,10575,クロナゼバム

11390,105751,クロナゼバム 内

11390,10580,ゾニサミド

11390,105801,ゾニサミド 内

11390,10585 ,バルプロ酸ナトリウム
 11390,105851,バルプロ酸ナトリウム 内
 11390,105852,バルプロ酸ナトリウム 内・液
 11393,10650 ,メチルフェノバルビタール
 11393,106501,メチルフェノバルビタール 内 95.3.31 該当薬剤無し
 11393,10655 ,フェニトイン・フェノバビタール
 11393,106551,フェニトイン・フェノバビタール 内
 11393,10660 ,ヒダントール-D, -E, -F
 11393,106601,ヒダントール-D, -E, -F 内
 1141 ,10675 ,アセトアミノフェン
 1141 ,106751,アセトアミノフェン 内
 1141 ,106752,アセトアミノフェン 坐
 1141 ,10685 ,フェナセチン
 1141 ,106851,フェナセチン 内
 1141 ,10690 ,フルフェナム酸
 1141 ,106901,フルフェナム酸 内
 1141 ,10695 ,フルフェナム酸アルミニウム
 1141 ,106951,フルフェナム酸アルミニウム 内
 1141 ,106952,フルフェナム酸アルミニウム 内 水イソ
 1141 ,106953,フルフェナム酸アルミニウム 内 30フェリ錠
 1141 ,10715 ,メフェナム酸
 1141 ,107151,メフェナム酸 内
 1141 ,107152,メフェナム酸 内※
 1141 ,107153,メフェナム酸 内S
 1141 ,10730 ,トルフェナム酸
 1141 ,107301,トルフェナム酸 内
 1142 ,10740 ,塩酸ベンジダミン
 1142 ,107401,塩酸ベンジダミン 内
 1143 ,10750 ,アスピリン

1143,107501,アスピリン 内
22590,173351,塩酸マブテロール 内
22590,17340,塩酸メトキシフェナミン
22590,173401,塩酸メトキシフェナミン 内
22590,173402,塩酸メトキシフェナミン 注
22590,126302,臭化フルトロピウム 外・液
22590,17355,フマル酸ホルモテロール
22590,173551,フマル酸ホルモテロール 内・錠
22590,173552,フマル酸ホルモテロール 内・DS
22590,17375,臭化オキシトロピウム
22590,173751,臭化オキシトロピウム 外・吸入液

5100,29050,アキョウ
5100,290501,アキョウ 内
5100,29055,アセンヤク
5100,290551,アセンヤク
5100,29060,アマチャ (甘茶)
5100,290601,アマチャ (甘茶)
5100,290602,アマチャ末
5100,29070,アロエ
5100,290701,アロエ
5100,290702,アロエ葉
5100,290703,アロエエキス
5100,29085,アンソッコウ
5100,290851,アンソッコウ
5100,29090,イレイセン
5100,290901,イレイセン
5100,29095,インチンコウ
5100,290951,インチンコウ

5100 ,290952,インチンコウエキス
5100 ,29105 ,ウイキョウ (茴香)
5100 ,291051,ウイキョウ (茴香)
5100 ,291052,ウイキョウチンキ
5100 ,291053,ウイキョウエキス
5100 ,29125 ,ウコン
5100 ,291251,ウコン
5100 ,291252,ウコンエキス
5100 ,29135 ,ウズ (烏頭)
5100 ,291351,ウズ (烏頭)
5100 ,29140 ,ウバイ
5100 ,291401,ウバイ
5100 ,291402,ウバイエキス

5200 ,309701,黄連解毒湯 (基準)
5200 ,309702,黄連解毒湯 (三和)
5200 ,309703,黄連解毒湯 (ツムラ)
5200 ,30985 ,黄連湯
5200 ,309851,黄連湯 (基準)
5200 ,309852,黄連湯 (小太郎)
5200 ,30995 ,乙字湯
5200 ,309951,乙字湯 (基準)
5200 ,309952,乙字湯 (小太郎)
5200 ,309953,乙字湯 (三和)
5200 ,309954,乙字湯 (ツムラ)
5200 ,309955,乙字湯エキス
5200 ,31025 ,化食養脾湯
5200 ,310251,化食養脾湯 (基準)
5200 ,31030 ,かつ香正気散

5200 ,310301,かつ香正気散 (基準)
5200 ,31035 ,葛根黄連黄ごん湯
5200 ,310351,葛根黄連黄ごん湯 (基準)
5200 ,31040 ,葛根加朮附湯
5200 ,310401,葛根加朮附湯 (基準)
5200 ,31045 ,葛根紅花湯
5200 ,310451,葛根紅花湯 (基準)
5200 ,31050 ,葛根湯
5200 ,310501,葛根湯 (基準)
5200 ,310502,葛根湯 (小太郎)
5200 ,310503,葛根湯 (三和)
5200 ,310504,葛根湯 (ツムラ)
5200 ,310505,葛根湯エキス
5200 ,31075 ,葛根湯加川きゅう辛夷
5200 ,310751,葛根湯加川きゅう辛夷 (基準)
5200 ,310752,葛根湯加川きゅう辛夷 (小太郎)
5200 ,31085 ,加味温胆湯
5200 ,310851,加味温胆湯 (基準)
5200 ,31090 ,加味帰脾湯
5200 ,310901,加味帰脾湯 (基準)
5200 ,31095 ,加味解毒湯
5200 ,310951,加味解毒湯 (基準)
5200 ,31101 ,加味逍遙散
5200 ,311011,加味逍遙散 (基準)
5200 ,311012,加味逍遙散 (小太郎)
5200 ,31115 ,加味逍遙散合四物湯
5200 ,311151,加味逍遙散合四物湯 (基準)
5200 ,31120 ,加味平胃散
5200 ,311201,加味平胃散 (基準)

5200,31125,乾姜人參半夏丸

5200,311251,乾姜人參半夏丸(基準)

6112,35920,塩酸リンコマイシン

6112,359201,塩酸リンコマイシン 内

6112,359202,塩酸リンコマイシン 注

6112,35930,塩酸クリンダマイシン

6112,359301,塩酸クリンダマイシン(クリンダマイツ) 内・DS

6112,359302,塩酸バルミチン酸クリンダマイシン(クリンダマイツ) 内

6112,359303,リン酸クリンダマイシン(クリンダマイツ) 注

6113,35950,塩酸バンコマイシン

6113,359501,塩酸バンコマイシン 内

6113,359502,塩酸バンコマイシン 注

61190,35970,硫酸アルベカシン

61190,359701,硫酸アルベカシン 注

6121,35985,カリンドシリンナトリウム

6121,359851,カリンドシリンナトリウム 内

6121,35990,チカルシリンナトリウム

6121,359901,チカルシリンナトリウム 注

6121,35995,塩酸ヒブメシリナム

6121,359951,塩酸ヒブメシリナム 内

6122,36005,アズトレオナム

6122,360051,アズトレオナム 注

6122,36015,カルモナムナトリウム

6122,360151,カルモナムナトリウム 注

6123,21790,硫酸フラジオマイシン

6123,217901,硫酸フラジオマイシン 内

6123,36030,硫酸アミカシン

6123,360301,硫酸アミカシン 注

6123,36035,硫酸イセバマイシン
 6123,360351,硫酸イセバマイシン 注
 6123,36040,硫酸バロモマイシン
 6123,360401,硫酸ハロモマイシン 内
 6123,36045,トブラマイシン
 6123,360451,トブラマイシン 注
 6123,36050,一硫酸カナマイシン
 6123,360501,一硫酸カナマイシン (硫酸カマイシン) 内
 6123,360502,一硫酸カナマイシン (硫酸カマイシン) 内・シロップ

 6131,36130,アスポキシシリン
 6131,361301,アスポキシシリン 注
 6131,36135,アモキシシリン
 6131,361351,アモキシシリン 内
 6131,361352,アモキシシリン 内※
 6131,36145,アンピシリン
 6131,361451,アンピシリン 内
 6131,361452,アンピシリン 内※
 6131,361453,アンピシリンナトリウム(アピシリン) 注
 6131,361454,アンピシリンナトリウム(アピシリン) 坐
 6131,36165,塩酸タランピシリン
 6131,361651,塩酸タランピシリン 内
 6131,36170,塩酸バカンピシリン
 6131,361701,塩酸バカンピシリン 内
 6131,36175,塩酸レナンピシリン
 6131,361751,塩酸レナンピシリン 内
 6131,36180,カルベニシリンナトリウム
 6131,361801,カルベニシリンナトリウム 注
 6131,36185,シクラシリン

6131,361851,シクラシリン 内・カプセル
 6131,361852,シクラシリン 内・細粒
 6131,36195,スルベニシリンナトリウム
 6131,361951,スルベニシリンナトリウム 注
 6131,36201,ピペラシリンナトリウム
 6131,362011,ピペラシリンナトリウム 注
 6131,36205,トシル酸スルタミシリン
 6131,362051,トシル酸スルタミシリン 内・細粒
 6131,362052,トシル酸スルタミシリン 内・錠

略

(3)、87分類名及びコード

一般名 87分類 名称ファイル

日本標準商品分類 平成3年1月改訂版 (通産省)

87コード, 87分類名称

- 1 神経系および感覚器管用品
- 11 中枢神経系用薬
- 111 全身麻酔剤
- 1112 全身麻酔剤 ハロゲン炭化水素製剤:ハロタン等
- 1114 全身麻酔剤 エーテル系製剤
- 1115 全身麻酔剤 溶性バルビツール酸系及び溶性チオバルビツール酸系製剤
- 1116 全身麻酔剤 亜酸化窒素製剤
- 1119 その他の全身麻酔剤
- 11190 その他の全身麻酔剤 その他
- 112 催眠鎮静剤、抗不安剤
- 1121 催眠鎮静剤、抗不安剤 有機ブロム化合物製剤:ブロムワレリル尿素系製剤
- 1122 催眠鎮静剤、抗不安剤 メプロバメート系製剤(未使用)
- 1123 催眠鎮静剤、抗不安剤 抱水クロラル系製剤

- 1124 催眠鎮静剤、抗不安剤 ベンゾジアゼピン系製剤
- 1125 催眠鎮静剤、抗不安剤 バルビツール酸系およびチオバルビツール酸系製剤
- 1126 催眠鎮静剤、抗不安剤 ブロム塩製剤:臭化カリウム等
- 1129 その他の催眠鎮静剤、抗不安剤
- 11290 その他の催眠鎮静剤、抗不安剤 その他
- 11293 その他の催眠鎮静剤、抗不安剤 配合剤(未使用)

113 抗てんかん剤

- 1131 抗てんかん剤 フェナセミド系製剤
- 1132 抗てんかん剤 ヒダントイン系製剤
- 1133 抗てんかん剤 オキサゾリジン系製剤
- 1134 抗てんかん剤 バルビツール酸系製剤
- 1135 抗てんかん剤 プリミドン系製剤
- 1137 抗てんかん剤 スルホンアミド系製剤
- 1139 その他の抗てんかん剤
- 11390 その他の抗てんかん剤 その他
- 11393 その他の抗てんかん剤 フェニトイン含有配合製剤

114 解熱鎮痛消炎剤

- 1141 解熱鎮痛消炎剤 アニリン系製剤:メフェナム酸、フルフェナム酸等
- 1142 解熱鎮痛消炎剤 ベンジダミン製剤
- 1143 解熱鎮痛消炎剤 サリチル酸系製剤:アスピリン等
- 1144 解熱鎮痛消炎剤 ビラゾロン系製剤:アンチピリン、スルピリン等
- 1145 解熱鎮痛消炎剤 インドメタシン製剤
- 1146 解熱鎮痛消炎剤 ビラビタール系類複合体製剤
- 1147 解熱鎮痛消炎剤 フェニル酢酸系製剤
- 1148 解熱鎮痛消炎剤 塩基性消炎鎮痛剤
- 1149 その他の解熱鎮痛消炎剤
- 11490 その他の解熱鎮痛消炎剤 その他

- 11491 その他の解熱鎮痛消炎剤 動物製剤
- 11493 その他の解熱鎮痛消炎剤 ビラゾン・フェネチジン・尿素化合物(カフェイン配合を含む)
- 11494 その他の解熱鎮痛消炎剤 サリチル酸・ビタミン類配合剤
- 11495 その他の解熱鎮痛消炎剤 サリチル酸・コンドロイチン含有剤
- 11496 その他の解熱鎮痛消炎剤 サリチル酸・ビタミン類含有剤
- 11497 その他の解熱鎮痛消炎剤 サリチル酸・カンフル含有剤
- 11499 その他の解熱鎮痛消炎剤 その他の配合剤

- 115 興奮剤、覚醒剤
- 1151 興奮剤、覚醒剤 アンフェタミン系製剤
- 1153 興奮剤、覚醒剤 ペメグリド製剤

- 116 抗パーキンソン剤
- 1161 抗パーキンソン剤 アマンタジン製剤
- 1162 抗パーキンソン剤 ビベリデン製剤
- 1163 抗パーキンソン剤 プロフェサミン製剤
- 1164 抗パーキンソン剤 レボドパ製剤
- 1169 その他の抗パーキンソン剤
- 11690 その他の抗パーキンソン剤 その他
- 11693 その他の抗パーキンソン剤 配合剤

- 117 精神神経用剤
- 1171 精神神経用剤 クロルプロマジン製剤
- 1172 精神神経用剤 フェノチアジン系製剤
- 1173 精神神経用剤 モノアミン酸化酵素阻害剤
- 1174 精神神経用剤 イミプラミン系製剤
- 1179 その他の精神神経用剤
- 11790 その他の精神神経用剤 その他

11793 その他の精神神経用剤 配合剤

118 総合感冒剤

11803 総合感冒剤 鎮咳・抗ヒスタミン・鎮痛配合剤

11804 総合感冒剤 鎮咳・抗ヒスタミン・解熱配合剤

119 その他の中枢神経系用薬

1190 その他の中枢神経系用薬 その他

12 末梢神経系用薬

121 局所麻酔剤

1211 局所麻酔剤 アミノ安息香酸アルカミンエステル製剤:プロカイン等

1212 局所麻酔剤 アミノ安息香酸アルキルエステル製剤:アミノ安息香酸エチル等

1213 局所麻酔剤 ジブカイン系製剤

1214 局所麻酔剤 キシリジン系製剤

1219 その他の局所麻酔剤

12190 その他の局所麻酔剤 その他

12193 その他の局所麻酔剤 配合剤

122 骨格筋弛緩剤

1222 骨格筋弛緩剤 クロルゾキサゾン製剤

1223 骨格筋弛緩剤 合成クラーレ製剤

1224 骨格筋弛緩剤 コリン系製剤:コハク酸コリン等

1225 骨格筋弛緩剤 カルバメート系製剤

1226 骨格筋弛緩剤 アルカロイド製剤:ツボクラリン等

1229 その他の骨格筋弛緩剤

12290 その他の骨格筋弛緩剤 その他

12293 その他の骨格筋弛緩剤 配合剤

123 自律神経剤

1231 自律神経剤 四級アンモニウム塩製剤:メタンテリンブロミド等

1232 自律神経剤 アセチルコリン系製剤

1233 自律神経剤 ネオスチグミン系製剤

1234 自律神経剤 ベンジルイミダゾリジン系製剤

1239 その他の自律神経剤

12390 その他の自律神経剤 その他

12393 その他の自律神経剤 ベラドンナエキス・フェノバルビタール剤(エルゴタミン配合を含む)

12399 その他の自律神経剤 その他の配合剤

124 鎮けい剤

1241 鎮けい剤 ジフェニルグリコレート系製剤

1242 鎮けい剤 アトロピン系製剤

1243 鎮けい剤 ババベリン系製剤

1244 鎮けい剤 マグネシウム塩製剤:硫酸マグネシウム注射液等

1249 その他の鎮けい剤

12490 その他の鎮けい剤 その他

12492 その他の鎮けい剤 植物製剤

12493 その他の鎮けい剤 四級アンモニウム化合物・ピラゾロン剤

13 感覚器官用薬

131 眼科用剤

1311 眼科用剤 散瞳剤:ホマトロピン等

1312 眼科用剤 縮瞳剤:ピロカルピン等

1313 眼科用剤 眼科用局所麻酔剤

1314 眼科用剤 眼科用防腐収斂剤:アミノ塩化第2水銀等

1315 眼科用剤 眼科用コルチゾン製剤:コルチゾン点眼液及び眼軟膏剤
 1316 眼科用剤 眼科用局所血管収縮剤
 1317 眼科用剤 眼科用抗生物質製剤:オキシテトラサイクリン眼軟膏剤
 1319 その他の眼科用剤
 13190 その他の眼科用剤 その他
 13193 その他の眼科用剤 配合剤

132 耳鼻科用剤
 1324 耳鼻科用剤 耳鼻科用血管収縮剤
 1325 耳鼻科用剤 耳鼻科用抗生物質製剤
 1329 その他の耳鼻科用剤
 13290 その他の耳鼻科用剤 その他
 13293 その他の耳鼻科用剤 配合剤

133 鎮量剤
 1331 鎮量剤 ジメンヒドリナート製剤
 1332 鎮量剤 メクリジン製剤
 1339 その他の鎮量剤
 13390 その他の鎮量剤 その他
 13393 その他の鎮量剤 配合剤

略

(4)、薬剤の剤型

コード, 剤型

T00,内服薬	T01,原末・末	T02,塊片	T03,板状
T04,角片	T05,トライシロップ	T07,腸溶錠	T08,粒
T09,チュアブル錠	T10,散剤	T11,錠剤	T12,丸剤
T13,カプセル	T14,細粒	T15,顆粒	T16,エキス
T17,練薬	T18,糖衣錠	T19,フィルム錠	T21,浸煎剤

T22, 湯剤	T31, 液剤	T32, シロップ	T33, ドロップ
T34, 酏剤	T35, セリー	T36, 油剤	T37, エリキシル
T38, 流剤	T41, 内服用滴剤		
外用薬			
T50, 散剤	T51, カプセル・錠剤	T52, トローチ	
T53, 軟・硬膏・スチック・ペースト・練薬	T54, 貼付剤・パップ剤・湿布剤		
T55, リメント	T56, 坐剤	T57, セリー・ゲル	T58, フィルム
T59, クリーム	T60, パウダー・パウダースプレー	T61, 点眼剤(液・軟)	
T62, 点鼻・点耳剤	T63, 浣腸剤	T64, エアゾール・噴霧液	
T65, 軟塊	T66, ガーゼ・綿	T67, 絆創膏・パッチ	
T68, 救急絆創膏・パット		T69, 液状絆創膏	T71, 液剤・チンキ
T72, ガス・吸入剤	T73, ローション	T74, フォーム	T75, マース
T76, 油剤	T77, 浸浴剤		
T80, 注射薬	T81, 注射薬		
T90, 生薬	T91, 原末	T92, 末	T93, エキス
T94, チンキ	T95, 実	T96, 生	T97, 玊(薬)
T98, エタノール抽出液	T99, 油		

(5)、薬剤の色

後述の、1.2.4 (10)、最終段階での総合的データ内容を参照。

(6)、薬剤の識別記号

後述の、1.2.4 (10)、最終段階での総合的データ内容を参照。

(7)、何の薬？ (効能・効果 適応病名) 及びコード

コード, コメント

Q0011, B型肝炎ウイルスによる慢性肝炎の治療薬です。

Q0021, アミノ酸製剤です。

Q0022, 肝硬変用のアミノ酸製剤です。

Q0031, アルドステロン症、クッシング症候群の治療薬です。

- Q0041,アレルギー性疾患の治療薬です。
- Q0042,アレルギー性疾患の外用薬です。
- Q0333,ビタミンK剤です。骨粗鬆症の骨量、疼痛を改善します。
- Q0341,ビタミン不足による皮膚疾患の治療薬です。
- Q0351,ビタミン類の補給薬です。
- Q0365,ベラグラ、皮膚疾患の治療薬です。
- Q0371,マラリアの治療薬です。
- Q0381,ヨウ素剤です。
- Q0480,うがい薬です。
- Q0491,いぼ、角化症等の角質をやわらかくして除去する薬です。
- Q0501,うつ病、抑うつ神経症、ナルコレプシーの治療薬です。
- Q0511,うつ病・うつ状態の治療薬です。
- Q0521,うつ病・うつ状態、尿失禁の治療薬です。
- Q0531,うつ病の治療薬です。
- Q0541,うつ病やうつ状態、夜尿症の治療薬です。
- Q0551,かぜなどの解熱・鎮痛、歯痛、のどの痛み、月経痛その他の痛みの治療薬です。
- Q0552,かぜなどの解熱・鎮痛、歯痛、のどの痛み、月経痛その他の痛みを治療するピリン系の薬です。
- Q0561,かぜ薬です。
- Q0571,かびによる感染症の治療薬です。
- Q0581,かゆみ止めの軟膏です。
- Q0583,がんによる疼痛を鎮める薬です。
- Q0586,けいれんを鎮める薬です。
- Q0591,しもやけの治療薬です。
- Q0601,てんかんの治療と、三叉神経痛の治療薬です。
- Q0611,てんかんの治療薬です。
- Q0621,にきび（尋常性ざ瘡）等の治療の外用薬です。
- Q0625,ねむけ、むくみ、頭痛などの治療薬です。

Q0631,むくみの治療薬です。

Q0641,めまいの治療薬です。

Q0651,やせ薬（肥満症の治療薬）です。

Q0711,胃・十二指腸潰瘍、胃炎等の治療薬です。

Q0712,胃・十二指腸潰瘍、胃炎等の止血や症状を改善する薬です。

Q0721,胃・十二指腸潰瘍、逆流性食道炎等の治療薬です。

Q0731,胃・十二指腸潰瘍と精神病の治療薬です。

Q0741,胃・十二指腸潰瘍等の治療薬です。

Q0745,胃痛の治療薬です。

Q0751,胃の粘膜の局所麻酔剤です。

Q0761,胃炎、消化性潰瘍（胃・十二指腸潰瘍）、肝障害等の治療薬です。

Q0771,胃炎、胃・十二指腸潰瘍、肝障害等の治療薬です。

Q0781,胃炎の治療薬です。

Q0791,胃腸の諸症状を改善する薬です。

Q0823,胃潰瘍・胃炎・十二指腸潰瘍等の治療薬です。

Q0831,胃潰瘍の治療薬（粘膜保護剤）です。

Q0841,胃潰瘍の治療薬です。

Q0851,胃粘膜の表面を麻痺させる薬です。

Q0855,胃内視鏡検査時に胃内粘液を溶かして、除去する薬です。

Q0861,円形脱毛症、気管支喘息、放射線障害などの治療薬です。

Q0871,黄体ホルモン（女性ホルモン）剤です。

Q0881,黄体ホルモンと卵胞ホルモンの配合剤です。

Q0891,潰瘍性大腸炎の治療薬です。

Q0892,潰瘍性大腸炎治療の坐薬です。

Q0895,外用酵素剤です。

Q0901,化学療法剤で、細菌による感染症の治療薬です。

Q0911,過敏性大腸炎（症）の治療薬です。

Q0921,回虫、ぎょう虫の駆虫薬です。

Q0931,回虫の駆除剤です。

Q0941,外傷などの腫脹（はれ）や痔核の治療薬です。

Q0951,覚醒剤です。

Q0961,角膜疾患用の点眼薬です。

Q0962,角膜の乾燥を防ぎ、角膜表層を保つ薬です。

Q0971,乾せん、魚鱗せん、濃ほう症、角化症等治療の外用剤です。

Q0981,緩和な下剤です。

Q0991,緩和な精神安定剤です。

Q1001,肝機能の改善剤です。

Q1002,高ビリルビン血症における肝機能の改善薬です。

Q1003,肝機能の改善、湿疹、皮膚炎等の治療薬です。

Q1011,肝機能改善薬であり、解毒剤です。

Q1021,肝硬変症の治療薬です。

Q1025,肝生検後の止血剤です。

Q1031,肝臓の機能を改善する薬です。

Q1041,肝臓疾患やアレルギーの治療薬です。

Q1051,眼圧亢進症（緑内障など）の治療薬です。

Q1056,眼圧や脳圧を下げる薬です。又メニエル病の改善剤でもあります。

Q1061,気管支拡張剤（気管支を広げる薬）です。

Q1062,気管支拡張、粘液溶解剤です。

Q1222,強心・利尿・鎮痛薬です。

Q1231,強力な精神安定剤です。

Q1241,狭心症、冠硬化症の治療薬です。

Q1251,狭心症、心筋梗塞、心臓喘息の発作がおこった時の治療薬です。

Q1261,狭心症、心筋梗塞、脳血管障害などの治療薬です。

Q1271,狭心症、脳梗塞後遺症などの治療薬です。

Q1551,口腔内やのどの消毒・殺菌剤です。

Q1552,口腔内やのどの炎症を治療する薬です。

Q1561,口腔内消毒・殺菌剤です。

Q1571,口腔内用の軟膏です。

Q1581,口内殺菌剤です。

Q1591,抗アレルギー性の精神安定剤です。

Q1601,抗ウイルス剤のエイズ治療薬です。

Q1605,抗炎症（炎症を抑える）の外用剤です。

Q1606,抗炎症・血行促進・皮膚の保湿の外用剤です。

Q1627,抗血小板剤で、血栓の治療、血流障害による症状を改善する薬です。

Q1631,抗生物質です。

Q1641,抗生物質で、細菌による感染症の治療薬です。

Q1651,抗生物質で、肺結核の治療薬です。

Q1661,抗生物質で、結核の治療薬です。

Q1665,抗生物質で、膣炎治療剤です。

Q1671,抗生物質で、感染症の治療薬です。

Q1681,抗生物質と合成副腎皮質ホルモン剤（ステロイド剤）を配合した外用薬です。

Q1691,抗生物質の坐薬で、細菌による感染症の治療薬です。

Q1701,抗生物質による感染の予防、治療剤です。

Q1702,抗生物質で、口腔内の傷の感染を予防します。

Q1711,抗生物質の外用剤で、細菌による感染症の治療薬です。

Q1731,更年期障害などに用いられる女性ホルモン剤です。

Q1732,更年期障害、月経異常、子宮出血等に用いられる女性ホルモン剤です。

Q1733,月経異常、子宮出血等に用いられる女性ホルモン剤です。

Q1741,甲状腺ホルモン剤です。

Q2871,腸の機能を改善したり、肝硬変症の肝不全のときの高アンモニア血症の治療薬です。

Q2891,腸内細菌の異常による症状を調整する薬です。

Q2892,抗生物質使用時の腸内細菌の異常による症状を調整する薬です。

Q2901,鎮咳・鎮痛薬です。

Q2902,鎮咳・鎮痛、激しい下痢を抑える薬です。

Q2911,鎮咳・去痰薬です。

Q3291,脳の代謝賦活剤で、いわば脳細胞のはたらきをよくする薬です。

Q3301,脳や末梢の血管循環を改善する薬です。

Q3311,脳循環代謝改善剤です。脳細胞のはたらきをよくする薬です。

Q3321,脳卒中の後遺症、脳動脈硬化症などの治療薬です。

Q3331,脳代謝改善剤で、いわば脳のはたらきをよくする薬です。

Q3341,脳動脈硬化症、パーキンソン症候群などによる運動障害の治療薬です。

Q3351,脳梗塞後遺症の治療薬です。

Q3361,脳代謝賦活剤で、いわば脳細胞のはたらきをよくする薬です。

Q3371,排尿障害の治療薬です。

Q3381,排便機能を促進する薬です。

Q3391,排卵誘発剤です。

Q3401,肺気腫、緑内障、てんかんなどの治療薬です。

Q3405,吐き気止めであり、めまいの薬です。

Q3406,吐き気止めであり、メニエル症候群などによるめまいの治療薬です。

Q3410,白せんなど、病原性のかびに感染しておこる皮膚病の外用剤です。

Q3411,白せん、黄せんなど、病原性のかびに感染しておこる皮膚病の治療薬です。

Q3421,白内障治療の点眼薬です。

Q3422,白内障や角膜炎等の点眼薬です。

Q3423,白内障手術時の炎症防止の点眼薬です。

略

(8)、副作用情報及びコード

コード, コメント

R0001, 発疹、発熱、血圧変動、動悸、頻脈、幻覚、めまい、倦怠感、悪心・嘔吐、口の渇き、排尿困難、むくみ、筋肉のこわばり、手のふるえ、発汗等が現われることがあります。

R0002, 便秘、口やのどの渇き等がおこることがあります。

R0004, 発熱、吐き気、食欲不振、口やのどの渇き、徐脈等がおこることがあります。

R0005, 徐脈、めまい、動悸、脱力感、軟便、食欲不振等がおこることがあります。

R0006, 動悸、顔のほてり、発汗、不眠、発疹、吐き気等がおこることがあります。

R0007, 胃不快感、下痢があらわれることがあります

R0008, うつ状態、性欲減退、眠気、口やのどの渇き、下痢、鼻づまり等がおこることがあります。

R0009, 眠気、ふらつき、食欲不振、悪心、吐き気、倦怠感、脱力感、眼・耳の変調等、又長期連用により薬物依存を生じることがあります。

R0010, 吐き気、食欲不振、排尿困難、発疹等がおこることがあります。

R0012, 発疹、かゆみ、眠気、鎮静、疲労感、不安、徐脈、起立性低血圧、食欲不振、口の渇き、鼻閉等が現れることがあります。

R0013, 発疹、かゆみ、食欲不振、吐き気、下痢、めまい、動悸、脱力感、から咳等がおこることがあります。

R0014, 動悸、頭痛、めまい、のぼせ、耳鳴り、全身倦怠感、脱力感、浮腫、頻尿等がおこることがあります。

R0015, めまい、頭痛、動悸、胃の不快感、鼻づまり、発疹等がおこることがあります。

R0016, 発疹、かゆみ、全身倦怠感、頭痛、眠気、食欲不振等がおこることがあります。

R0017,頭痛、めまい、ふらつき、眠気等がおこることがあります。

R0018,動悸、めまい、徐脈、吐き気、下痢等がおこることがあります。

R0019,軟便、胃の不快感等がおこることがあります。

R0020,食欲不振、胃部不快感、発疹、寒気等がおこることがあります。

R0021,口やのどの渇き、めまい、胸の不快感等がおこることがあります。

R0022,眠気、倦怠感、悪心、腹痛、下痢、発疹、口の渇き等が現われることがあります。

R0023,食欲不振、吐き気、下痢、徐脈、不整脈、視覚異常、めまい、頭痛、錯乱、発疹、じんま疹、紫斑、むくみ等が現れることがあります。＊

R0024,局所に刺激感等がおこることがあります。

R0025,発疹、発赤、かゆみ、かぶれ等が生じることがあります。

R0026,不整脈、動悸、頭痛、めまい、手指のふるえ等がおこることがあります。

R0028,皮膚のかゆみ、発赤、かぶれ等がおこることがあります。

R0029,まれに口の渇き、便秘、胸やけ等が現われることがあります。

R0030,接触皮膚炎、発疹、かゆみ、刺激感等がおこることがあります。

R0031,から咳、頭痛、悪心・嘔吐、発疹、かゆみ等がおこることがあります。

R0032,発疹、食欲不振、吐き気、下痢、めまい、カリウム不足、ナトリウム不足等がおこることがあります。

R0034,低血糖症、光線過敏症等がおこることがあります。

R0035,低血糖症（脱力感、空腹感、発汗、動悸、頭痛、興奮、意識障害等）、光線過敏症、発疹、悪心、食欲不振等が現れることがあります。

R0036,眠気、口やのどの渇き、発汗、倦怠感等がおこることがあります。

R0038,眠気、ふらつき、歩行失調、倦怠感、口の渇き、悪心、吐き気、
発疹等がおこることがあります。

R0040,発疹、蕁麻疹等がおこることがあります。

R0041,発疹、かゆみ、光線過敏症、めまい、頭痛、立ちくらみ、食欲
不振、口の渇き、関節痛、倦怠感等が現れることがあります。

R0042,発疹、かゆみ、喘息発作、食欲不振、吐き気、頭痛、耳鳴り、
消化性潰瘍の悪化等がおこることがあります。

R0043,吐き気、食欲不振、腹痛、下痢、頭痛、不眠、興奮、めまい、
動悸等が現れることがあります。

R0044,神経過敏、頭痛、眠気、発疹、口の渇き、胸やけ、多尿、排尿
困難等が現れることがあります。

R0045,のぼせ、顔のほてり、頭痛、めまい、ふらつき、むかつき等が
おこることがあります。

略

(9)、服用上の注意事項及びコード & 服用上の指導事項及びコード
コード,コメント

J0238,薬の服用後はうがいや物を食べるのを控えて下さい。

J0239,吸湿性のため、服用直前に薬を取り出して下さい。

J0240,生薬濃縮エキスからなる薬なので、約 100 m l のぬるま湯また
は水で服用して下さい。

J0242,即効性ですので、寝る前の服用は避けて下さい。

J0243,多量の水（10～20 倍量の水）で薄めて服用して下さい。

J0244,熱湯で溶かしたり、果物の生ジュースを混ぜたりしないで下さ
い。

J0245,服用時に溶かし、食事と共に飲んで下さい。

J0246,一包を 1 0 0 m l の水又はぬるま湯に溶かし、水の量は少なく
しない様にして下さい。

J0247,水又はぬるま湯に溶かして服用して下さい。

J0248,約4倍量の温湯(50~60℃)に溶かして服用して下さい。

J0249,1回量を100mlの水、又はぬるま湯に溶かして服用、又はうがいして下さい。

J0250,検査15~30分前に水に溶かし、溶解後は直ちに服用して下さい。

J0251,服用5分前に約50mlの牛乳をのんで下さい。(胃酸により活性を失うのを防ぎます)

J0300,服薬中の注意

J0301,強い直射日光に長くあたらないように注意してください。

J0302,日光、太陽灯などで発疹が出る場合がありますので過度に光線にさらされるのを避けて下さい。

J0303,日光から皮膚を保護するために、帽子、長袖、長ズボンの着用、日焼け止クリームの使用など工夫して下さい。

J0304,急に起き上がると、めまい、悪心、頭痛が起こることがありますのでご注意ください。

J0305,立ち上がるなど姿勢を変えるときには、動作をゆっくりして下さい。

J0306,出血が止まりにくくなる場合がありますのでケガ等にご注意下さい。

J0308,反射運動がにぶることがあるので、車の運転や危険な作業は注意して下さい。

J0309,車の運転や機械の操作など十分に注意して下さい

J0310,危険な作業や車の運転は避けて下さい。

J0311,めまいがおこることがあるので、危険な作業や車の運転は避けて下さい。

J0312,眠気がおこることがあるので、危険な作業や車の運転は避けて下さい。

J0313,眠気、反射運動がにぶることがあるので、危険な作業や車の運転は避けて下さい。

J0314,眠気、めまい等が起きることがありますので、車の運転や危険な作業は避けて下さい。

J0315,眠気、めまい、ふらつき等が起きることがあるので、車の運転や危険な作業は避けて下さい。

J0316,眠気、反射運動がにぶったり、注意力等が低下することがあるので、危険な作業や車の運転は避けてください。

J0317,眠気、脱力感等がおこることがあるので、危険な作業や車の運転は避けて下さい。

J0318,眠気、眼の調節障害、めまい等をおこすことがあるので、車の運転や危険な作業は避けて下さい。

J0319,視覚障害等をおこすことがあるので、車の運転や危険な作業は避けて下さい。

J0320,めまい、立ちくらみ等がおこることがあるので、危険な作業や車の運転は避けてください。

J0321,めまい、ふらつき等がおこることがあるので、危険な作業や車の運転は避けて下さい。

J0322,眼の調節障害をおこすことがあるので、危険な作業や車の運転は避けてください。

J0323,眼の調節障害、めまい等をおこすことがあるので、危険な作業や車の運転は避けて下さい。

J0324,翌朝起きた後まで作用が残ることがあるので、車の運転や危険な作業を避けて下さい。

J0325,血圧が下がることがあるので、車の運転や危険な作業は避けて下さい。

J0326,飲みはじめや量を増やした時、立ちくらみやめまい等が起きることがあるので、車の運転や危険な作業は注意して下さい。

J0327,ワクチンの接種を受ける場合は必ず主治医の先生又は薬剤師に相談して下さい。

J0328,血糖値が下がりすぎると重い副作用が現われることがあるので指示された用法・用量を守りましょう。(特に食生活が不規則の人、食事量が少ない人、アルコールを多量に飲む人、激しい筋肉運動をする人、)

J0329,服用中に便が農緑色になったり、便臭が薄くなることがあります。が、心配ありません

J0330,服用中に便や尿の色や匂いが変わったり汗に色がつくことがあります。が心配はいりません。

J0331,服用中に便が黒く変わることがありますが心配ありません

J0332,服用中尿が赤く変わることがありますが心配ありません

J0333,尿が黄赤色に変わることがありますが心配ありません

J0334,服用中尿が暗色になることがあります。が心配ありません

J0335,服用中尿に特異な匂いが着くことがあります。が心配ありません

J0336,服用中尿が黄緑色に蛍光を発することがありますが心配ありません

J0337,服用中尿、唾液、なみだ、汗などが黄赤色に変わることがありますが心配ありません

J0338,服用中尿が黄褐色や赤色になることがあります。が心配ありません

J0339,服用中尿が黄色になることがあります。が心配ありません

J0365,服用中尿、唾液、汗などが黒っぽくなる場合があります。が心配ありません

J0366,服用中尿や便が赤く変わることがありますが心配ありません

J0367,服用中尿が暗赤色に変わることがありますが心配ありません

J0368,服用中尿がこはく色または黄緑色に変わることがありますが心配ありません

J0340,服用中は定期的に視力検査等を受けましょう。

- J0341,服用中は定期的に血液や尿などの検査を受けましょう。
- J0342,服用中は定期的に血糖や尿糖などの検査を受けましょう。
- J0343,服用中は指示された検査はきちんと受けましょう。
- J0344,服用中は定期的に肝機能検査等を受けましょう。
- J0345,服用中は定期的に肝・腎機能検査、血液検査等を受けましょう。
- J0346,服用中は定期的に腎機能検査等を受けましょう。
- J0347,服用中は定期的に血圧を測定しましょう。
- J0348,服用中は血液や心電図などの検査を受けましょう。
- J0349,服用中は時々尿の検査や聴力検査等を受けましょう。
- J0356,服用中は血圧や脈拍、心電図などの検査を受けましょう。
- J0357,服用中は定期的に血液などの検査を受けましょう。
- J0358,服用中は定期的に心電図の検査を受けましょう。
- J0359,服用中は定期的に腎機能、肝機能検査等を受けましょう。
- J0350,水分をたくさん（1日2ℓくらい）にとって、尿量を増やして下さい。
- J0351,あまり水分を取り過ぎない様にして下さい
- J0352,一時的に痰の量が増えることがありますが心配ありません
- J0353,服用してから6～8時間は紫外線にあたらないようにしましょう。
- J0354,服用中と服用後、女性は2年間、男性は6カ月間は必ず避妊して下さい。
- J0355,服用中は避妊して下さい。
- J0360,服用中と服用後、1カ月間は必ず避妊して下さい。
- J0361,服用中は授乳を避けてください。
- J0814,下痢が治ったら服用を中止して下さい。
- J0815,下痢の時は、水分、出来ればスポーツドリンクをとって下さい。
- J0816,沈殿が生じることがあるので、よく振ってから服用して下さい。
- J0900,服薬の意義

J0901,発作が起こった時に服用するのではなく、普段から服用を続けて発作を予防する薬です。

J0902,この薬は、血中濃度を一定に保つために、一定時間毎に服用して下さい。

J0903,血液中の抗生物質の濃度を保つため、できるだけ一定時間毎に服用しましょう。

J0904,この薬は、アレルギー反応を起こさない様にしますので、症状が消えても、しばらく続けて下さい。

J0905,血糖値維持のため、症状がなくても続けて下さい。

J0906,すでに起こっている発作をすぐに鎮める薬ではありません。医師の指示にしたがって服用して下さい。

J0907,効果があらわれるまで時間がかかります。しばらく服用をつづけて下さい。

J0908,この薬は長期間、規則正しく飲み続ける必要があります。医師とよく相談して下さい。

J0909,ステロイド剤は急激に減らすと危険です。医師の指導を必ず守りましょう。

J0910,血液中の尿酸の量を正常に保つため、痛みのない時も服用を続ける必要があります。

J0911,効果が現れるまで時間がかかりますが、連用すると副作用も起こりやすくなるので、医師の指示を守って服用しましょう。

J0912,急に血圧が下がらないよう、少量から始めて徐々に増量します。指示された用法・用量を守りましょう。

J0913,急激な利尿効果によって脱水が起こるのを防ぐため、少量から始めて徐々に増量します。指示された用法用量を守りましょう。

J0914,服用してすぐに中毒症状がなくなるわけでもないのに、医師の指示通り服用して下さい。

J0915,症状に合わせて服用量が調整されます。指示された用法・用量をまもりましょう。

J0916,病状が刻々と変わるような状態で用いられることが多いので、必ず医師の指導を守りましょう。

J0917,使い方がむずかしい薬ですから、必ず医師の指導を守りましょう。

J1000,副作用

J1001,副作用と思われる症状が出た時はすぐに医師に、連絡して下さい。

J1002,筋肉痛、脱力感の強いときは、中止して医師に連絡して下さい。

J1003,薬で発疹、吐き気、腹痛、下痢、関節痛、胸痛、脈が乱れる、尿が出にくいなどの症状が出た場合には、服用を中止して、すぐに医師に連絡して下さい。

J1004,胃腸障害があるかもしれません。食後すぐ十分な量の水で飲んで下さい。

J1005,胃腸障害の発現を少なくするため、食後すぐ又はミルク、制酸剤と一緒に飲んで下さい。

J1006,かゆみ、熱感、発赤などの過敏症状が出たら服用を中止してください

J1007,めまい、ふらつき等又、飲みはじめには一過性の急な血圧低下が現われる事があるので注意して下さい。

J1008,発疹、じん麻疹などの過敏症状や胃腸障害が出たら、医師に連絡して下さい。

J1009,手足が震える事、又は寝つきにくい事がある時は、医師にお話し下さい。

J1010,吐き気や、脈の乱れを感じたらすぐに医師に連絡して下さい

J1011,眠気、疲労感、嘔吐感を感じたら、すぐに医師に連絡して下さい。

J1012,皮膚の発赤や、かゆみ、胃腸障害等が現れた場合は、すぐ医師に連絡して下さい

J1013,尿の量が著しく少なくなった時は、中止して医師に連絡して下さい。

J1014,膀胱炎様症状（頻尿、排尿痛、血尿、残尿感等）が出たら、服薬を中止して医師に連絡して下さい。

J1015,タール状の黒色便があるときには、服薬を中止して医師に連絡して下さい。

J1016,発熱や喉の痛み、倦怠感があらわれたら、服薬を中止して医師に連絡して下さい。

J1017,発疹、じん麻疹などの過敏症状が出たら、服薬を中止して医師に連絡して下さい。

J1018,時によっては、流涙症状が出る事がありますが、心配はありません

J1019,一時、まぶしさを感じる事も有る様ですが、心配ありません。

J1020,むくみ、体重の増加を感じたら医師に連絡して下さい。

J1021,長期間服用すると、まれに耳鳴りや聞こえにくくなったり、尿の異常が起こることがあります。おかしいと思ったらすぐ医師に連絡して下さい。

J1022,軟便や下痢が起こることがありますが、普通は一過性のものですから心配ありません。

J1023,便秘が起こることがあります。便秘がちな人は医師にお話下さい。

J1024,脈が遅くなったり、低血圧の症状が現われた場合は、すぐに医師に連絡して下さい。

J1025,悪心、嘔吐、食欲不振、腹痛、便秘、下痢等の胃腸障害が現われた場合は、すぐに医師に連絡して下さい。

J1026,腹痛、吐き気、嘔吐等が現われた場合は、すぐに医師に連絡して下さい。

J1027,口渇又は唾液増加等の症状が現われた場合は、医師に連絡して下さい。

J1028,口内炎、舌のあれやしびれ感等が現われた場合は、医師に連絡して下さい。

J1029,歯肉がはれたりした場合は、すぐに医師に連絡して下さい。

J1030,手足の冷え、又はしびれ等が現われた場合は、すぐに医師に連絡して下さい。

略

(10)、最終段階での総合的データ内容

レ処理コード,商 品 名 ,副作用,何の薬,剤型,記号 1 ,記号 2 ,コメント×最大 5 個

662640563,亜鉛華(10%)単軟膏,R1133,Q3471,T53,白～淡黄,,,J1260,,,,

610406380,アカルデ イブ セル1.25mg,R1454,Q2471,T13,黄褐,201,AC1.25,J0916,

J1058,

610406381,アカルデ イブ セル2.5mg,R1454,Q2471,T13,緑:黄褐,202,AC2.5,J0916,

J1058,

662630061,アグアチムクリーム1%,R1127,Q0621,T59,白,,OG36,J1242,

611230003,アクチシンCap10mg,R1386,Q3801,T13,淡橙,112,ACT 10 112,J1533,

611140683,アクチリン錠 200mg,R1343,Q2331,T11,白,OX2,OX2,J1004,J1317,

662690012,アクトン軟膏 3%,R1182,Q3131,T53,白～微黄白,,424,J1206,

662610020,アクリノール液 0.1%,R1147,Q2101,T71,黄,,,J1274,

616150002,アクロマイシンVCap250mg,R1763,Q1641,T13,白～黄白,397,397,J0301,

J0205,J0903,J1901,

662630002,アクロマイシン軟膏,R1123,Q1711,T53,黄,,,J1242,

662630045,アクロマイシン末,R1763,Q1711,T50,黄,,,J1228,J1001,

615100047,アコニン錠 166.67mg,R5501,Q1222,T11,淡褐,,ST-01,J0101,

613990087,アサニン錠 50mg,R1700,Q2551,T11,淡黄,TA 101,TA 101,J0307,

J0607,J1512,

612350002,アシヤストAコーワ錠 40mg,R0206,Q3701,T18,白,010,A・J:010,J0216,
 J0338,J1532,
 612320020,アスコブ[®],R0151,Q0711,T15,白,,,J1023,J1314,
 660408269,アスカット軟膏 1%,R1189,Q3481,T53,やまぶき,,05,J1232,J1242,
 662640018,アス[®]ノール軟膏(3000 倍),R1138,Q2222,T53,淡青～淡青緑,,,J1001,
 613220003,アスパ[®]ラK 散,R0137,Q0101,T10,白,,,J0348,J1013,
 611140017,アスピ[®]リン,R1044,Q2311,T01,白,,,J0306,J1005,J1307,
 662220006,アスブ[®]ール液 0.5%,R1221,Q1151,T71,無色澄明,,,J1272,J1238,J1069,
 612120232,アスペ[®]ノンCap10mg,R1461,Q3571,T13,淡橙,MPI 220,MPI220 10,
 J0214,J0605,
 612220036,アスペ[®]リン錠(20),R1038,Q2921,T11,淡橙,TA105,TA105(20),J0332,
 J1001,
 612220031,アスペ[®]リンシロップ 0.5%,R1038,Q2921,T32,白～淡黄灰白,,,J0332,J1001,
 616140007,アセチルスピ[®]ラマイシン錠協和 200mg,R0295,Q1641,T18,黄橙,KH 804,KH804
 200,J0903,
 611140022,アセトアミノフェン,R0087,Q1511,T01,白,,,J1005,J1317,
 611170018,アタラックス-P10 倍散,R1364,Q1591,T10,淡黄,,,J0312,J1508,
 611170019,アタラックス-Pシロップ[®],R1364,Q1591,T32,淡橙,,,J1072,
 612140702,アーチスト錠 10mg,R1512,Q1841,T19,黄,318,ART10 318,J0356,J0614,
 J1024,
 612140494,アテ[®]カット錠 30mg,R1498,Q1891,T11,淡橙,223:30,223 30,J0321,
 J0912,
 612140492,アテ[®]カット錠 7.5mg,R1498,Q1891,T11,白～帯黄白,221:7.5,221 7.5,
 J0321,J0912,
 610407147,アテレック錠 5,R1514,Q1891,T19,白,AJI 5,,J0309,J0615,J0634,
 613130039,アテ[®]ロキサール散 10%,R1115,Q0251,T10,微黄～黄,,,J1538,
 611240004,アーチン100 倍散,R1019,Q0161,T10,白,,,J0318,J0908,
 662640019,アド[®]コルチンクリーム0.1%,R0294,Q2021,T59,白,,A-Dクリーム,J1220,J1263,
 J1294,

612220472,アトックD.S.,R1149,Q1092,T05,白,,As-Ds 0.5g,J1049,J1055,J1404,
 612220471,アトック錠 40 μ g,R1149,Q1151,T11,白～灰白,018,018 AC-40,J1049,
 J1055,
 662640682,アトフィット 10×14cm,R1232,Q2321,T54,白～淡黄,,KC-321,J1241,
 662650104,アトラントクリーム1%,R1189,Q3481,T59,白,,SS717-C,J1232,J1242,
 662220010,アトロベント,R1220,Q1071,T64,白,,,J1215,J1216,
 612440002,アトロロール錠 5mg,R1664,Q0132,T11,橙,A,AD 5,J0911,J0634,J1077,
 612140012,アビラコール錠 30mg,R1510,Q1891,T19,白,KH204,KH204 30mg,J1058,
 610407137,アフェマ錠 1mg,R1718,Q0692,T19,灰赤,CG 506,AFE1 CG506,J0608,
 662310019,アフラゾロン軟膏(口腔用),R1186,Q2026,T70,白,,,J1236,
 612170021,アフラクタン錠 25mg,R1550,Q3241,T11,白,AP 025,AP 025 25mg,J0604,
 J1058,
 611230008,アボヒスCap50mg,R1388,Q2381,T13,淡青,AVG 50,AV 50 G,J1602,
 J1063,
 612320348,アミコス錠 0.5mg,R1642,Q0841,T19,白,705,705,J0312,
 612170708,アモロジン錠 5mg,R0239,Q1841,T19,白,536,536 AMD5,J0320,
 612320034,アレンタ,R1625,Q0823,T14,白,,AT 1g,J1314,J1023,J1911,
 613120003,アリサミンF糖衣錠 5mg,R0238,Q0231,T18,白,306,306 5,J1017,J1535,
 611410011,アリメジンシロップ,R1430,Q0041,T32,赤澄明,,,J1072,
 614210014,アルケラン錠,R1714,Q0692,T11,白,A2A,,J0357,J0605,J1627,
 660406005,アルテシンAQネーサル8.5mg,R1202,Q2024,T62,白,,ALD PS,J1253,J1202,
 611190051,アルサート顆粒 5%,R0105,Q3291,T15,白～微黄白,,MCI 013,J0206,
 J1303,
 611190052,アルサート錠 50mg,R0105,Q3291,T19,淡黄,MCI 012,ANT50 MCI012,
 J0206,J1303,
 661140092,アルビニー坐剤 50,R0087,Q1511,T56,白,,ALPINY SUPP 50mg,J1231,
 613110004,アルファロールカプセル3.0 μ g,R0133,Q0292,T13,白～微黄白,,ALF 3,J1046,
 J1511,J1902,

613110002,アルファロールカプセル0.5 μ g,R0133,Q0292,T13,淡黄褐澄明,,ALF 0.5,

J1046,J1511,J1902,

613110005,アルファロール液,R0133,Q0292,T31,微黄～淡黄澄明,,,J1046,J1511,J1902,

612180014,アルファイブプレートカプセル,R1542,Q1961,T13,白,705,705,J1002,J1601,

611140685,アルボ錠 200mg,R1343,Q2331,T11,白,T72,T72 200,J1004,J1317,

662640683,アルメタ軟膏 0.1%,R1130,Q2011,T53,微黄白,,371 ALT,J1220,J1294,

J1263,

660407001,アレキサル点眼液 5mg,R1173,Q0043,T61,無色澄明,,,J1248,J1208

614490023,アレキサルトライシロップ,R1573,Q1081,T05,白～微黄白,,228,J0633,

J0906,

614490001,アレキサル錠 10mg,R1573,Q1082,T11,帯黄白,226,10 226,J0633,

J0906,

614490029,アレジオン錠 10mg,R0146,Q0041,T19,白～微黄,1P,AL10,J0901,J0312,

612140033,アレステン錠,R1507,Q1891,T11,淡橙,216,216,J0301,J1526,J0913,

J1508,

611130096,アレビアチン錠,R1004,Q0611,T11,白,172,ALE:172,J0313,J0345,J0617,

611130094,アレビアチン細粒,R1004,Q0611,T14,白,,,J0313,J0345,J0617,

略

1.3 薬剤情報印字

1.3.1 操作手順

薬品の薬剤情報を印字します。

第1画面 NO. 1

薬品	薬剤情報
★ デイカシリン 150mg	1,2,3,4,5,6,7
★ デキサメタゾン 10mg	薬剤情報なし
★ サリチル酸 5mg	薬剤情報なし
★ イブuprofen 100mg	薬剤情報なし
★ エタナセリン 300mg	薬剤情報なし
★ エタナセリン 2mg	1,2,3,4,5,6,7,8,9
★ イブuprofen 100mg	1,2,3,4
★ イブuprofen 100mg	薬剤情報なし
★ イブuprofen 100mg	1,2,3,4,5,6,7

印刷を開始しますか？(Y/N)

調剤入力で入力した薬品が表示されます。自費分（9700番台）、コメント（9800番台）、特定材料（9900番台）、通常薬品でコメント対応したものは表示されません。

★マーク … 薬剤情報が存在する薬品に付いています。

★マークが付いている薬品が印刷対象ですが、画面右側の薬剤情報欄に情報番号(1～99)が表示されていない場合は薬剤情報は印字されません。

(例：薬剤情報番号選択時に全ての情報Noを出力対象外にした場合)

印刷を開始しますか？(Y/N)の時点で(第1画面NO. 1)、Y・とすると★マークが付いている薬品の薬剤情報が印刷されます。

第1画面 NO. 2

薬品	薬剤情報
★ デイカシリン 150mg	1,2,3,4,5,6,7
★ デキサメタゾン 10mg	薬剤情報なし
★ サリチル酸 5mg	薬剤情報なし
★ イブuprofen 100mg	薬剤情報なし
★ エタナセリン 300mg	薬剤情報なし
★ エタナセリン 2mg	1,2,3,4,5,6,7,8,9
★ イブuprofen 100mg	1,2,3,4
★ イブuprofen 100mg	薬剤情報なし
★ イブuprofen 100mg	1,2,3,4,5,6,7

印刷を開始しますか？(Y/N)

薬剤情報出力判定(どの薬品を印刷するかしないかの設定)を行う場合

上矢印キー(↑)を押すか、表示されている薬品名をクリックすると薬品表示へカーソルが移動します。

(第1画面NO. 2)

矢印キーで対象薬品まで移動し、キーを押すか、対象薬品をダブルクリックすると出力判定が可能です。

出力判定から抜けるには、ESCキーを押すか、[取消]をクリックして下さい。

・ **注意** … 最初から★がない薬品(薬剤情報なし)は出力判定(★を付けること)ができません。

薬剤情報番号選択を行う場合（２通り）

- ① パラメータセットで薬剤情報NOを設定。（設定方法は販売店にお問い合わせ下さい。）
- ② 任意の薬品にカーソルを合わせ、・キーを押す、又は「情報選択」をクリックすると、薬剤情報内容表示と情報番号選択が可能な第２画面に進みます。（下の図を参照）

★マークがない薬品を選択した場合、“薬剤情報が登録されていません！”と表示されます。

第２画面

情報番号の選択

薬剤情報内容

＊ ＊ 薬剤情報内容表示と情報番号選択 ＊ ＊

情報番号の選択

前画面で選択した薬品に存在する薬剤情報NOが表示されます。マゼンタ色の情報番号が出力対象、黒が出力対象外です。

マウスのクリック、または画面上枠の薬剤情報NOにカーソルがある状態で矢印キー（↑↓）・ROLL UP/DOWNキーを使用するか、スピンボタンをクリックして任意の情報番号にカーソルを合わせ、改行またはダブルクリックをすると、出力対象と出力対象外の切替を行うことができます。

薬剤情報内容

画面下枠はカーソルで選択した情報番号の内容になります。

内容の続きが見たい場合は、・キーを押すか「内容画面」をクリック、又は直接マウスで内容画面をクリックして下さい。画面下枠の情報内容にカーソルが移動しますので、ROLL UP/DOWNキーを使用するか、スピンボタンをクリックして下さい。

再度、・キーを押す、または「NO画面」をクリックすると、カーソルが画面上枠の薬剤情報NOに移動します。

[F 1 : 全選択]

- ・ キーを押す、または **全選択** をクリックすると、表示されている全ての情報番号を出力対象とします。

[F 2 : 全解除]

- ・ キーを押す、または **全解除** をクリックすると、表示されている全ての情報番号を出力対象外とします。

終了

- ・ キーを押す、または **入力終了** をクリックすると、選択した項目が保存されます。
この処理を行わずに、ESCキーを押す、または **取消** をクリックすると、選択した項目は無効となります。

今日のお薬

薬品名 : トフラニール錠 25mg

色・剤型 : 灰赤／糖衣錠 | CG210 | TOF 25 CG210/CG 210 TOF 25

主な作用 : うつ病・うつ状態、尿失禁の治療薬です。

☆立ち上がるなど姿勢を変えるときには、動作をゆっくりして下さい。

☆眠気、反射運動がにぶったり、注意力等が低下することがあるので、危険な作業や車の運転は避けてください。

☆服用中はアルコール類は飲まないで下さい。薬の作用が強く出ることがあります。

○血圧変動、瀕脈、むくみ、発疹、眠気、めまい、口の渇き、排尿困難、便秘、手のふるえ、筋肉のこわばり、頭痛、倦怠感、悪心・嘔吐、発汗、てんかん発作等が現われることがあります。

飲み方 : 1日3回毎食後に服用してください

5日分

薬品名 : ハルシオン0.25mg錠

色・剤型 : 淡青／錠剤 | 17 | 17

主な作用 : 不眠症の治療に用いられる薬です。

☆睡眠の途中で起きて用事をする必要がある場合は飲んではいけません。

☆翌朝起きた後まで作用が残ることがあるので、車の運転や危険な作業を避けて下さい。

☆連用中に急に服用を中止したり、急激に減らすと副作用が強く出ることがあるので、医師の指示を守って服用しましょう。

☆服用中はアルコール類は飲まないで下さい。薬の作用が強く出ることがあります。

○眠気、ふらつき、頭痛、口の渇き、倦怠感、一過性の健忘等、又大量連用により薬物依存がおこることがあります。

飲み方 : 1日1回就寝前に服用してください

14日分

※主な作用については医師の処方目的を示したものと限りません

・この薬は、医師があなたの病気や症状に対して処方した薬です。

・薬を服用中に何か気になることや変わったことがあれば勝手に判断せず、すぐに医師、薬剤師に相談しましょう。

Y S 調剤薬局

T E L 082-279-5550

薬剤師 和井柄須 太郎

原田 勝己 様

発行日 97 年 2 月 27 日

薬品名/主な作用	色・剤型	飲み方	朝	昼	夕	寝前	使用上の注意
トフラニール錠 25mg うつ病・うつ状態、尿失禁の治療薬です。	灰赤/糖衣錠 本体記号: CG210 包装記号: TOF 25 CG210/CG 210 TOF 25	1日3回毎食後に服用してください 5日分	1 後	1 後	1 後		●血圧変動、顔脈、むくみ、発疹、眠気、めまい、口の渇き、排尿困難、便秘、手のふるえ、筋肉のこわばり、頭痛、倦怠感、悪心・嘔吐、発汗、てんかん発作等が現われることがあります。 ★立ち上がるなど姿勢を変えるときには、動作をゆっくりして下さい。 ★眠気、反射運動がにぶったり、注意力等が低下することがあるので、危険な作業や車の運転は避けてください。
ハルシオン0.25mg錠 不眠症の治療に用いられる薬です。	淡青/錠剤 本体記号: 17 包装記号: 17	1日1回就寝前に服用してください 14日分				1	●眠気、ふらつき、頭痛、口の渇き、倦怠感、一過性の健忘等、又大量連用により薬物依存がおこることがあります。 ★睡眠の途中で起きて用事をする必要がある場合は飲んではいけません。 ★服用中はアルコール類は飲まないで下さい。薬の作用が強くなる場合があります。
クラビット細粒 100mg 合成抗菌剤で、細菌による感染症の治療薬です。	微黄白～黄白/細粒 包装記号: CV-1	1日3回毎食前に服用してください 7日分	○ 前	○ 前	○ 前		●発疹、かゆみ、不眠、めまい、頭痛、悪心・嘔吐、腹痛、下痢、低血糖、貧血、発熱、咳、筋肉痛、倦怠・脱力感等が現れることがあります。 ★発熱や喉の痛み、倦怠感があらわれたら、服薬を中止して医師に連絡して下さい。 ★風邪薬や鎮痛剤を飲む必要がある時は、必ずこの薬を服用中であることを医師、薬剤師にお話してください。
アンテバート軟膏 0.05% 合成副腎皮質ホルモン（ステロイド剤）の外用剤です。	白/軟・硬膏・スティック・ペースト・練薬 包装記号: TO-186-0	外用					●皮膚の刺激感、発疹、長期連用で皮膚萎縮、毛細血管拡張、にきび様発疹等が現れたり、かびや細菌に感染しやすくなったりすることがあります。 ★感染をおこした湿疹や皮膚炎にはつかわないで下さい。 ★化粧下やひげそり後等には使用しないで下さい。 ★長期の使用は避けて下さい。
ボンタールシロップ 3.25% 消炎・鎮痛・解熱剤です。	白/シロップ	発熱時に服用してください 5回分					●発疹、食欲不振、胃痛、腹痛、下痢、眠気、めまい等がおこることがあります。 ★振り混ぜてから服用して下さい。 ★消化性潰瘍や喘息のある方は、この薬を使う前に医師にその旨申し出て下さい。

※主な作用については医師の処方目的を示したものと限りません。

- ・この薬は、医師があなたの病気や症状に対して処方した薬です。
- ・薬を服用中になにか気になることや変わったことがあれば勝手に判断せず、すぐに医師、薬剤師に相談しましょう。

Y S 調剤薬局
広島市西区草津新町 1-25-35
広島ミクスビル 4 階
TEL 082-279-5550
薬剤師名 和井柄須 太郎

1. 4 データベースのカスタマイズ

1. 4. 1 操作手順

薬剤情報データの取り込みイメージ（レイアウト）を設定し、取り込み処理を実行することにより保険薬局システムに指定されたイメージで薬剤情報のデータが取り込まれます。

前準備作業

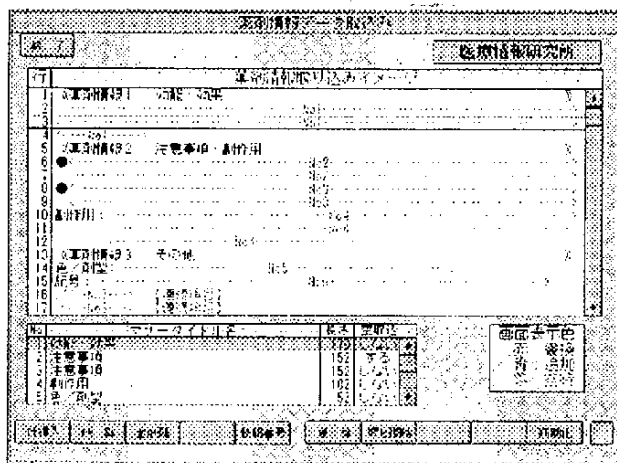
薬剤情報データ取り込みを行う前に以下の作業を行って下さい。

1. 97-01-31 版以降の保険薬局システムがインストールされていることを確認して下さい。
97-01-31 版以前の保険薬局システムの場合は、システムのバージョンアップを行って下さい。
2. <随時処理メニュー>の<15. FDリストア>にて、該当の薬剤情報データベースをセットして下さい。
3. <裏メニュー>の<1. パラメータセット>にて、項目27の薬剤データベースを該当の薬剤情報データベースに設定して下さい。

起動方法

1. 薬剤情報データ取り込みのオリジナルフロッピーをフロッピードライブにセットし、<随時処理メニュー>内の<14. オリジナルメニュー>を実行して下さい。
2. オリジナルメニューが表示されますので、<1. 薬剤情報取り込み>を選択して下さい。

操作説明



画面説明

- 薬剤情報データベース名欄（画面右上）
取り込み元となる薬剤情報データベースの種類が表示されます。
- 薬剤情報取り込みイメージ欄
薬剤情報データの取り込みイメージが表示されます。取り込む項目が、<No1>の形で表示されます。書き換え区分によって色分けされますが、詳しくは●書き換え区分についてを参照して下さい。
- 項目詳細情報欄（画面左下）
カーソルのある行の項目の内容が反転表示されます。

ファンクションキー操作

- 終了 : 処理した内容を取り消し、オリジナルメニューに戻ります。
- 行挿入 : カーソルのある行に空白行を挿入します。
- 削除 : カーソルのある行を削除します。
- 全削除 : 設定した取り込みイメージを全て削除します。
- 情報番号 : 薬剤情報タイトル 《薬剤情報X 》をカーソルのある行に挿入します。
- 登録 : 取り込みイメージを保存して薬剤情報データ取り込みを終了します。

※空白行は保存されませんのでご注意ください。

- 取込開始 : 作成した取り込みイメージに沿って、薬剤情報データの取り込みを行います。
- 初期化 : 保険薬局システムに登録されている薬剤情報データの初期化を行います。登録されているデータは全て消去されますのでご注意ください。

※取込開始・初期化の処理を実行すると保険薬局システムの薬剤情報データが更新され、以降元に戻すことができなくなります。処理を行う前にデータのバックアップを行って下さい。

取り込む項目の設定

【画面 1】

【画面 2】

【画面 3】

【画面 4】

【画面 5】

【画面 6】

1. 【画面 1】にて取り込む項目を設定する行にカーソルを移動し、〔改行〕キー押下、もしくはダブルクリックで【画面 2】項目選択画面が表示されます。
※カーソル行に既に項目が設定されている場合は修正となります。
2. 【画面 2】のマザー項目選択画面にて取り込む項目を選択して下さい。
3. 【画面 3】の書式選択画面が表示され取り込む項目を選択しガイドが表示されていますので、項目取り込み時の書式（レイアウト）を選択して下さい。
詳しくは以下の ●書式選択についてを参照して下さい。
※ここで書式 4 を設定すると、次は【画面 6】の入力になります。
4. 【画面 4】の長さ入力画面が表示されます。項目を取り込む際に、何文字取り込むかを設定して下さい。
5. 【画面 5】の書き換え区分入力画面が表示されます。薬剤情報を取り込む際に、取り込み先に既にデータが登録されている場合の処理を選択します。詳しくは以下の ●書き換え区分についてを参照して下さい。
《薬剤情報 X》～《薬剤情報 XX》間全ての項目の書き換え区分が変更されます。（書き換え区分は、薬剤情報タイトル間で共通の設定となります）
6. 【画面 6】の取り込み区分入力画面が表示されます。詳しくは以下の ●取り込み区分についてを参照して下さい

【画面7】

【画面8】

7. 【画面7】のコメント入力画面が表示されます。取り込む項目の先頭にコメントを設定する場合に入力して下さい。

※【画面3】にて書式4を選択した場合、以上で項目の入力は終了です。

8. 【画面8】のタイトル入力画面が表示されます。

薬剤情報1 効能・効果
薬剤情報タイトルの下線の部分に表示する文章を入力して下さい。

●書式選択について

薬剤情報を取り込む際に、どのようなレイアウトで取り込むかを指定します。

○書式1・・・コメントで1行使用し、次の行から内容を取り込みます。

★★副作用★★	←コメント
眠気、めまい、吐き気が起きることがあります。	←副作用の内容

コメントを入力しない場合はコメント行が空白行となります。

	←コメントがないため空白
眠気、めまい、吐き気が起きることがあります。	←副作用の内容

○書式2・・・コメントの直後から内容を取り込み、次の行以降（複数行）は行の先頭から内容を取り込みます。

コメント	副作用：呼吸困難、不整脈、血圧の変動、眠気、めまい、吐き気が起きることがあります。
------	---

コメントがない場合は前に詰めて内容のみを取り込みます。

呼吸困難、不整脈、血圧の変動、眠気、めまい、吐き気が起きることがあります。

○書式3・・・コメントの直後から内容を取り込み、次の行以降（複数行）はコメント分のスペースを開けて内容を取り込みます。

コメント	副作用：呼吸困難、不整脈、血圧の変動、眠気、めまい、吐き気が起きることがあります。
------	---

コメントがない場合は、前に詰めて内容のみを取り込みます。

呼吸困難、不整脈、血圧の変動、眠気、めまい、吐き気が起きることがあります。

○書式4・・・複数の項目を連結して取り込みます。

書式4を設定すると画面上は、

記号：<-----No6----->
コマン /<-----No7----->【連続項目】

と表示されます。上記の例の場合、No7の項目を連続項目（書式区分4）として設定しています。

上記の設定で薬剤情報の取り込みを行うと以下のように2つの項目を連結して取り込みが行われます。

記号：ANP20 188/ANP

※書式区分4を設定した場合以下のことに注意して下さい。

連続項目（書式区分4）の設定は、先頭になる項目の下に続けて設定する必要があります。上記の例の場合は、先頭になるNo6の下にNo7（連結して出力するもの）を設定しています。項目の入力の時点で、先頭になる項目がない場合は連続項目の入力ができなくなっています。また項目を削除する場合も同様で、連続項目（書式区分4）だけを残して先頭になる項目を削除することはできません。

その他、取り込み時の長さの設定についても書式区分4の場合は他の区分と異なり、先頭になる項目（No6）の長さに、連結される項目（No7）が含まれる設定となります。

記号：<-----No6-----> 長さ 60
コマン /<-----No7----->【連続項目】 (長さ 20)

この場合、実際に取り込みを行うと、No6とNo7の2つを連結し、60文字を超えた部分についてはカットされます。

●書き換え区分について

薬剤情報を取り込む際に、取り込み先に既にデータが登録されている場合の処理を設定します。

○区分1（書換え）・・・取り込み先に既にデータが登録されている場合上書きで取り込みを行います。その為、取り込み先に登録されていたデータは消えてしまいます。画面上は項目を赤色で表示しています。

○区分2（追加）・・・取り込み先に既にデータが登録されている場合、登録されているデータの次の行から新しい内容を追加して取り込みます。画面上は項目を青色で表示しています。

○区分3（空白時）・・・取り込み先にデータが登録されていないときのみ取り込みを行います。画面上は項目を紫色で表示しています。

※書き換え区分の設定は、薬剤情報タイトルの中の項目全てで共通となります。

《薬剤情報 X 》

) この間で書き換え区分は全て共通。

《薬剤情報 X X 》

●取り込み区分について

取り込み元のデータに該当項目の内容が登録されていない場合に、コメントのみ取り込むか何も取り込まないかを設定します。

区分1(しない)・・・取り込み元に項目内容が登録されていない場合、取り込み先に何も取り込みません。

区分2(する)・・・取り込み元に項目内容が登録されていない場合、【画面7】にて設定するコメントのみ取り込みます。

副作用：

※書式区分が4の場合、以下のことに注意して下さい。

先頭になる項目(No6)と連結する項目(No7)の設定により、コメントの付き方が変わってきます。

画面上の設定

コメント → 記号：<-----No6----->
 /<-----No7----->【連続項目】

・元の項目(No6)の取り込み区分1、連結する項目(No7)の取り込み区分1

No6、No7 両方に内容が登録されている場合の取り込みイメージ

記号：ANP 20 188/ANP

No6 に内容が登録されていない場合の取り込みイメージ

/ANP 20 188

No7 のコメントと内容のみ取り込まれます。

No7 に内容が登録されていない場合の取り込みイメージ

記号：ANP 20 188

No6 のみ取り込まれ、No7 は取り込まれません。

- ・ No6 の取り込み区分 2、No7 の取り込み区分 1

No6 に内容が登録されていない場合の取り込みイメージ

記号：ANP

No6 のコメントに、No7 の内容が連結されます。基本的に連続項目の場合は、コメントとコメントが連結されることはありません。記号：／ANP 等。

- ・ No6 の取り込み区分 2、No7 の取り込み区分 2

No7 に内容が登録されていない場合の取り込みイメージ

記号：ANP 20 188／

No7 のコメントが連結されて取り込まれます。

以上のように取り込み区分の設定によって、取り込まれる薬剤情報のデータ形式が変わってきます。連続項目の設定を行う場合には、パラメータの設定内容に十分注意して下さい。

薬剤情報タイトルの修正

《薬剤情報 1 効能・効果》

》

通常、取り込み項目の設定（【画面 5】【画面 8】）で薬剤情報タイトルの内容は設定されますが、直接内容の修正を行うこともできます。

【画面 1】

1. 【画面 1】にて薬剤情報タイトルの行にカーソルを移動し、「改行」キー押下、もしくはダブルクリックで【画面 5】の書き換え区分が表示されます。ただし、薬剤情報タイトル欄以降に取り込み項目が設定されていない場合は修正を行うことができません。

2. 【画面 5】の書き換え区分入力画面が表示されます。薬剤情報を取り込む際に、取り込み先に既にデータが登録されている場合の処理を選択します。

《薬剤情報 X 》～《薬剤情報 XX》間全ての項目の書き換え区分が変更されます。（書き換え区分は、薬剤情報タイトル間で共通の設定となります。）

【画面 5】

3. 【画面 8】のタイトル入力画面が表示されます。

【画面 8】

《薬剤情報 1 効能・効果》
薬剤情報タイトルの下線の部分に表示する文章を入力して下さい。

1. 5 おわりに

平成7年9月より、各製薬メーカーが添付文書の自主改訂にはいっており、半期で約1,500品目づつ3年間の予定であるが、さらに、平成9年4月からは、相互作用の記載変更が重なる予定である。

患者さんを薬害から守るデータベースとして、医師、薬剤師の方々には大いに活用していただきたく願うしだいである。

—— 禁 無 断 転 載 ——

平成 9 年 3 月発行

発行 財団法人 データベース振興センター
東京都港区浜松町二丁目4番1号
世界貿易センタービル7階
TEL 03-3459-8581

委託先 株式会社YS企画
広島県西区草津新町1丁目21番35号
ミクシスビル4階
TEL 082-279-5550

印刷所 中央プランニング株式会社
広島市中区大手町3丁目13番7号
蔵本ビル2階
TEL 082-244-1755

